



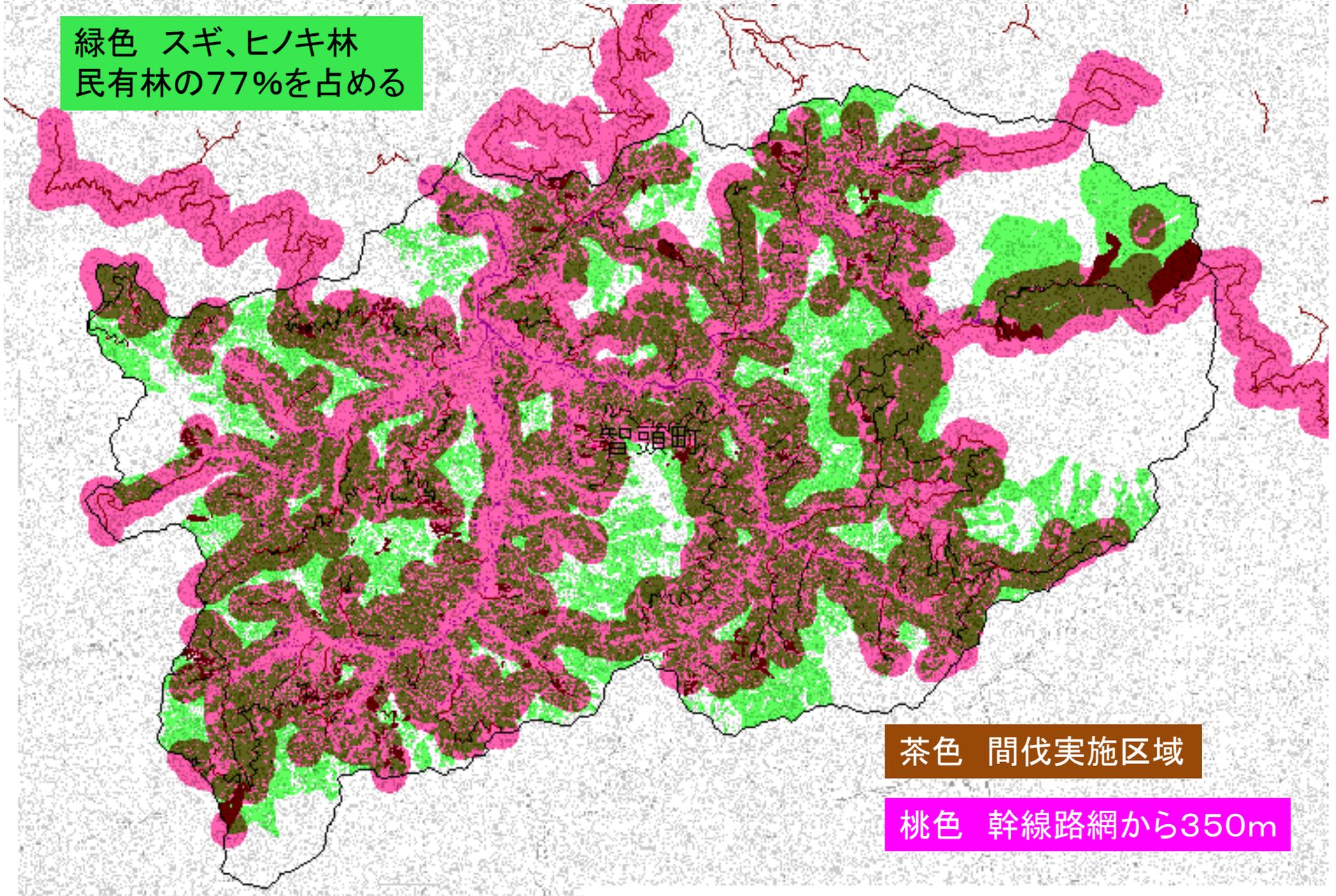
# 林業専用道 検討会

智頭町での検討結果

東部農林事務所八頭事務所 熊澤 孝一

# 智頭町 近年の間伐 路網整備動向

緑色 スギ、ヒノキ林  
民有林の77%を占める



茶色 間伐実施区域

桃色 幹線路網から350m

# 林業専用道開設検討場所要件

- ・幹線路網から350mの区域外
- ・施業履歴が近年あまりない場所
- ・2級林道以上の路網から尾根にアクセス
  - ⇒10tトラック、架線集材の効率化、地盤安定
- ・できるだけ勾配の緩い場所で開設
  - ⇒経費圧縮(構造物原則なし)、路網安定
- ・地すべり区域をできるだけ避ける

# 林業専用道開設場所検討の過程で

- 1 尾根の地山傾斜は緩いが幹線路網から直接アクセスができる場所が少ない。
- 2 山腹中腹は地山傾斜が連続して緩い場所が少なく、尾根へのアクセス、中腹を活用した長距離の林業専用道開設が困難
- 3 開設中or工事が諸事情(智頭町の財政事情)で停止している林道も存在
- 4 谷突っ込みの林道を中心に、3級相当のものが多く、2t(4t)程度のトラックしか入れない。  
⇒林業専用道を開設しても10tトラックは入れない

3級林道 幅員2.5m



# 智頭町 路網空白地帯の状況

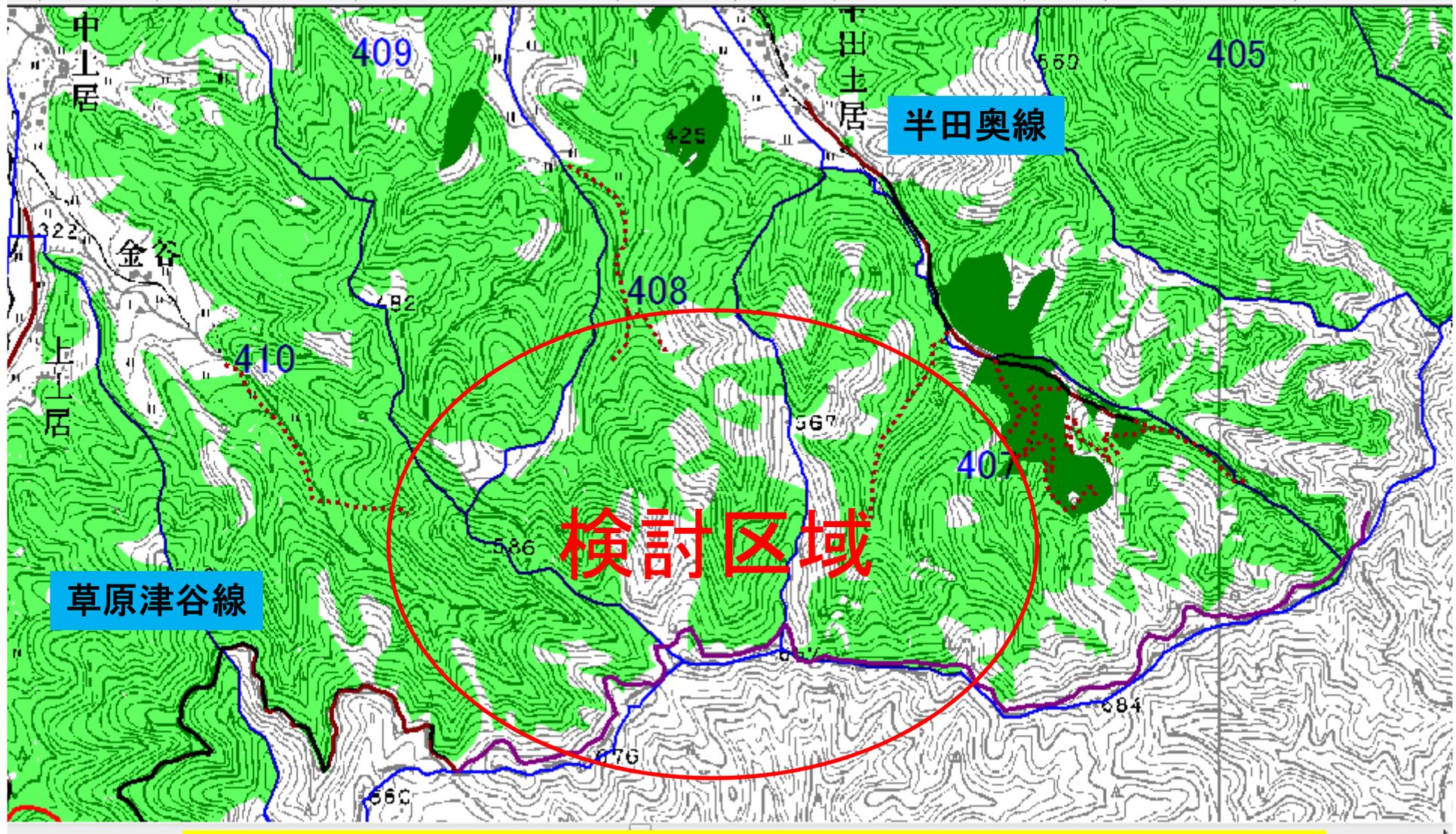


緑色 スギ、ヒノキ林

穂見山線STOP

桃色 幹線路網から350m

# 林業専用道検討区域 智頭町真鹿野付近



草原津谷線から尾根に林業専用道を開設

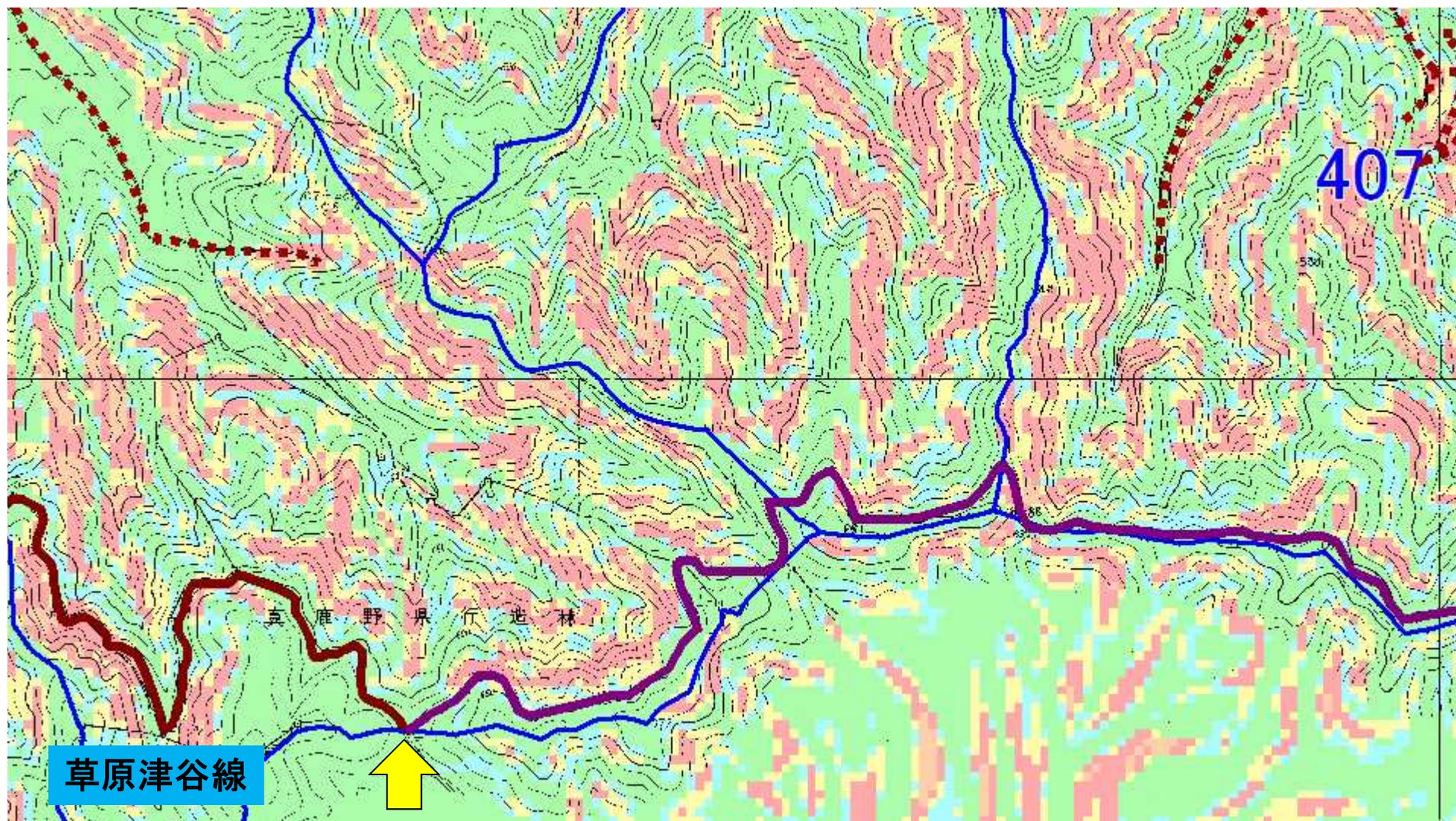
2級林道 草原津谷線 幅員4m林道



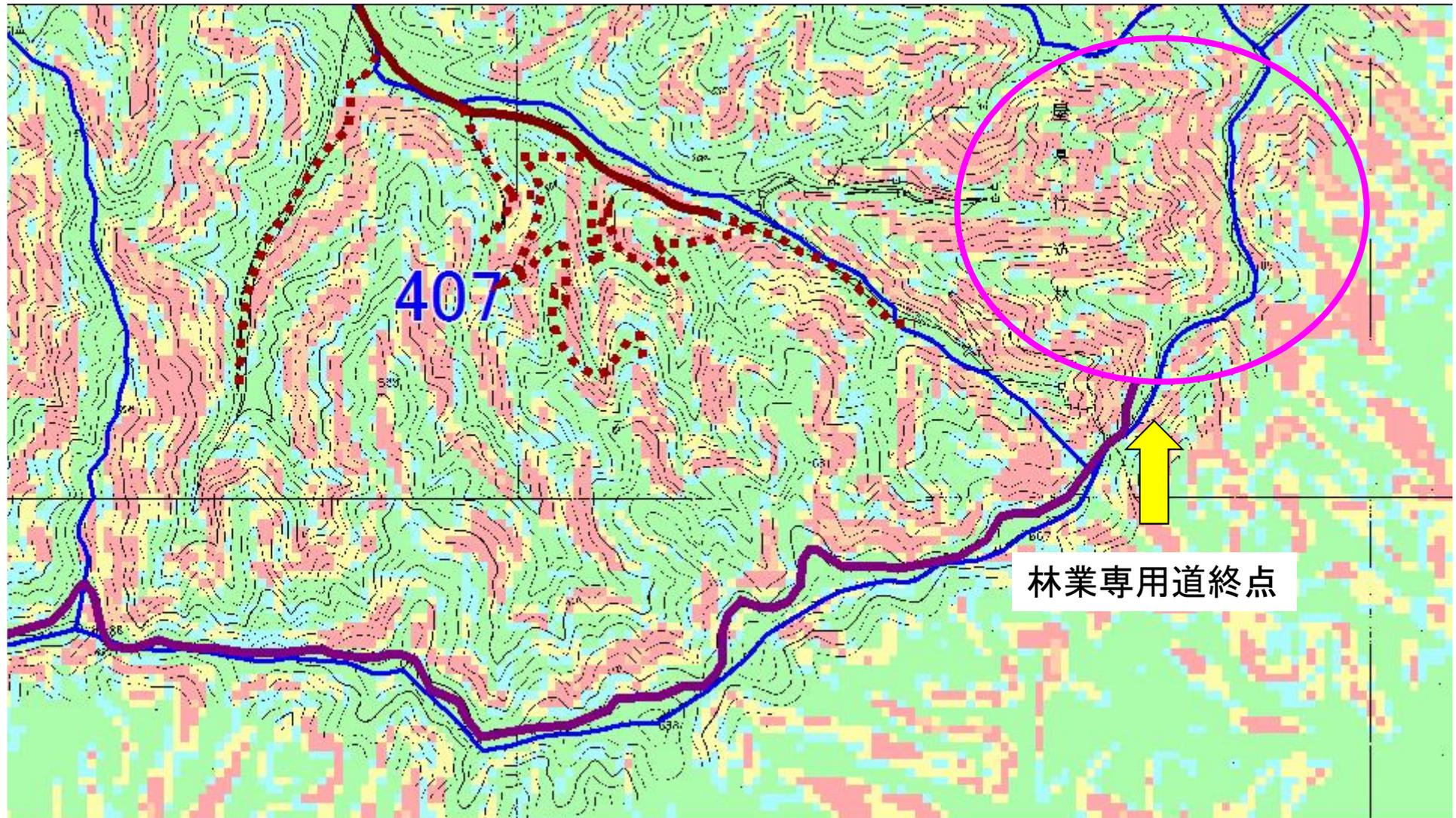
今回計画した林業専用道入口



# 林業専用道 真鹿野側ルート

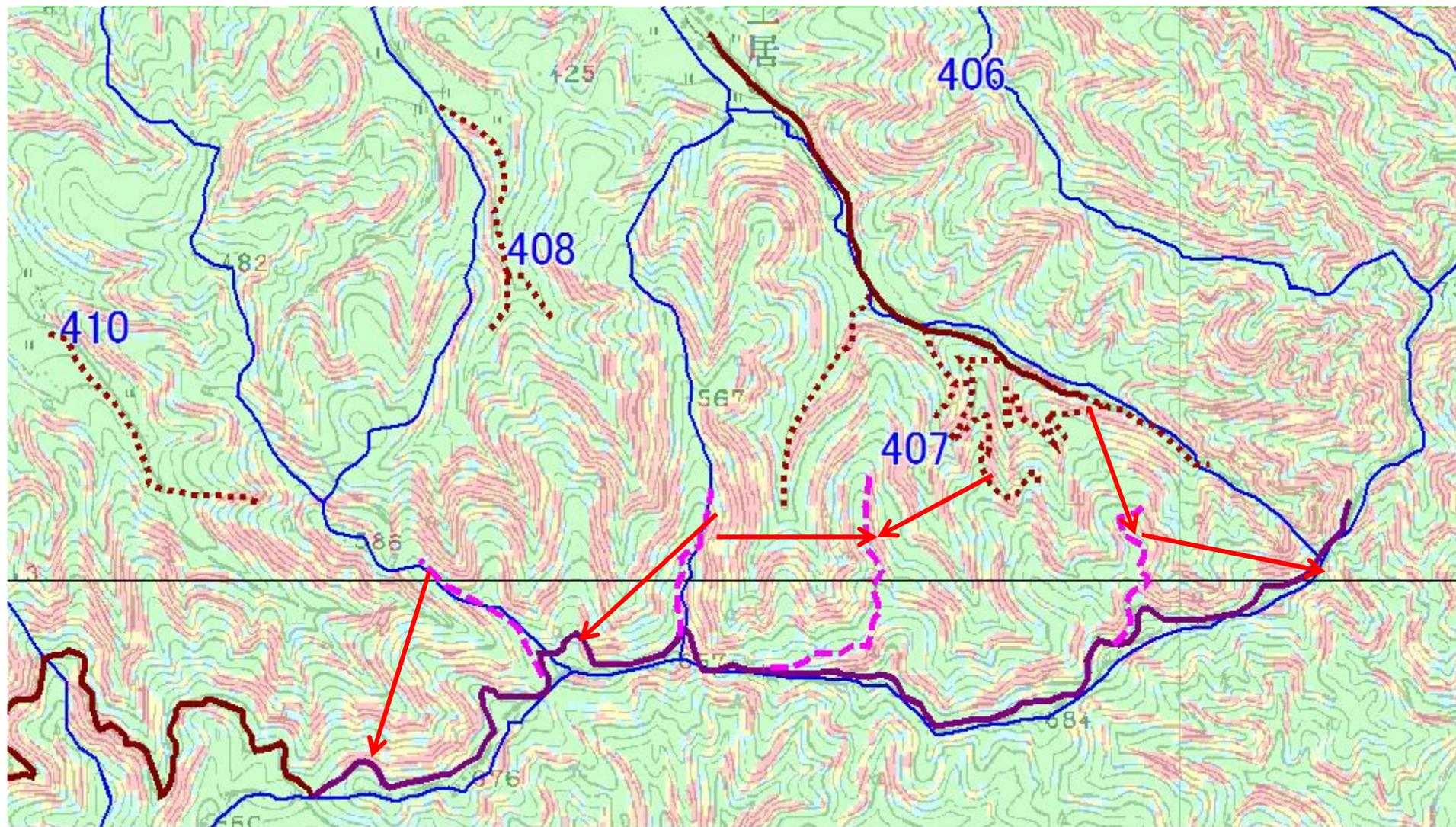


# 林業専用道 大屋側ルート



旧大屋県行造林地は尾根付近も急傾斜 要構造物(=林道レベルでないと開設困難)

# 林業専用道の活用



架線集材(ウッドライナー、タワーヤーダー等)

